株式会社キカガク

～教育を軸に人材領域で企業の DX を支援～

キカガク
KIKAGAKU

会社概要 / 事業紹介

キカガク KIKAGAKU

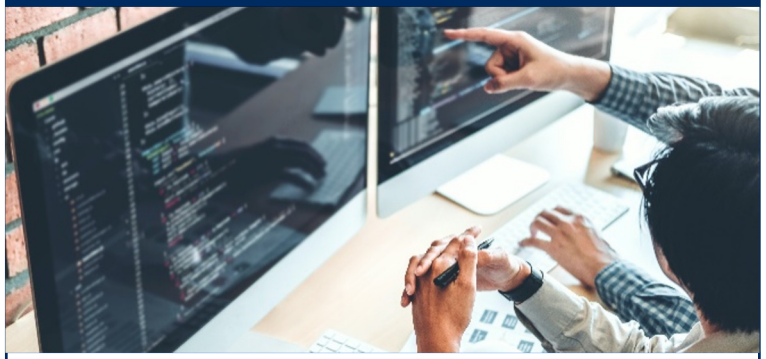
会社概要

- 社　名　：株式会社キカガク
- 代表者　：大崎 将寛
- 設　立　：2017年1月17日
- 従業員　：130名
- 資本金　：20,499,140円

法人研修・人材育成支援

企業の課題に合わせたカスタマイズ研修や
先端技術を最短で学べる動画学習プラットフォーム

受託開発・コンサルティング



AIモデル開発・コンサルティング企業の
DX推進を支援

スクール

AI・データサイエンスに特化した
6ヶ月間の長期コースを運営

キャリア

学生・社会人を先端IT人材へと育成し、
企業に紹介

ワークス

プラットフォームを通じて
先端技術を持った人材と企業を繋ぐ

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

実績

受講生 15 万名以上、クライアント 1,000 社以上

自動車・製造業・メーカー

TOYOTA / FUJIFILM / 住友ゴム / DNP 大日本印刷 / 住友重機械 / KONICA MINOLTA / 富士電機 / muRata INNOVATOR IN ELECTRONICS / SEGASammy / RICOH / ITOKI / YANMAR / OKI / IHI / Panasonic / YASKAWA

小売・食品

SAPPORO / daiei / セブン-イレブン / Retail AI Institute / House / TRIAL

運輸・建設・電力ガス

Seibu Holdings / 清水建設 / ヤマトグループ / SHIZGAS 静岡ガスグループ / TOKYO GAS / 四国電力

金融・保険

MIZUHO / Quick / 百十四銀行 / アコム / Prudential / 山梨中央銀行

公共・大学

経済産業省 / 一般社団法人 日本メディカルAI学会

IT・情報通信・SIer

モリサワ / FUJITSU 株式会社富士通ゼネラルOSテクノロジー / Pioneer / Microsoft / NTT DATA / NTTテクノクロス / OPTAGE / SCSK / X電通総研 / BIOTECH テービーテック株式会社 / TPEC / SOMPOシステムズ / 東芝デジタルエンジニアリング株式会社 / 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

その他

mercari / ATEAM / ABEJA / DMM.com / OLBA HEALTHCARE

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

日本経済新聞への記事掲載

日経新聞に記事広告を掲載しました。

2022年からDX人材育成に伴走支援させていただいているSUBARU様との対談形式となっています。

■掲載概要

- 掲載場所：日経新聞 紙面・電子版
- 記事内容：
  - SUBARU様のDX人材育成について
  - DX人材育成のパートナーとして キカガクを選んだ理由
  - これまでの取り組みの成果

電子版の記事は以下よりご覧いただけます。
https://www.kikagaku.co.jp/blog/reprint-case-subaru
※日経新聞に掲載された記事を、自社サイトに転載したものとなります。

▼電子版（2025/3/17～5/17）

▼紙面（2025/3/17朝刊）

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

参考：デジタルスキル標準

経済産業省と IPA が DX 推進人材向けにデジタルスキル標準を取りまとめました。以下2つから構成されます。

- ✓ ビジネスパーソン全体が DX に関する基礎的な知識やスキル・マインドを身につけるための指針である「**DX リテラシー標準**」
- ✓ 企業が DX を推進する専門性を持った人材を育成・採用するための指針である「**DX 推進スキル標準**」

DX リテラシー標準

標準策定のねらい

働き手一人ひとりが「DXリテラシー」を身につけることで、
DXを自分事ととらえ、変革に向けて行動できるようになる

Why
DXの背景

✓ DXの重要性を理解するために必要な、社会、顧客・ユーザー、競争環境の変化に関する知識を定義

→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

What
DXで活用されるデータ・技術

✓ ビジネスの場で活用されているデータやデジタル技術に関する知識を定義

→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

How
データ・技術の活用

✓ ビジネスの場でデータやデジタル技術を活用する方法や留意点に関する知識を定義

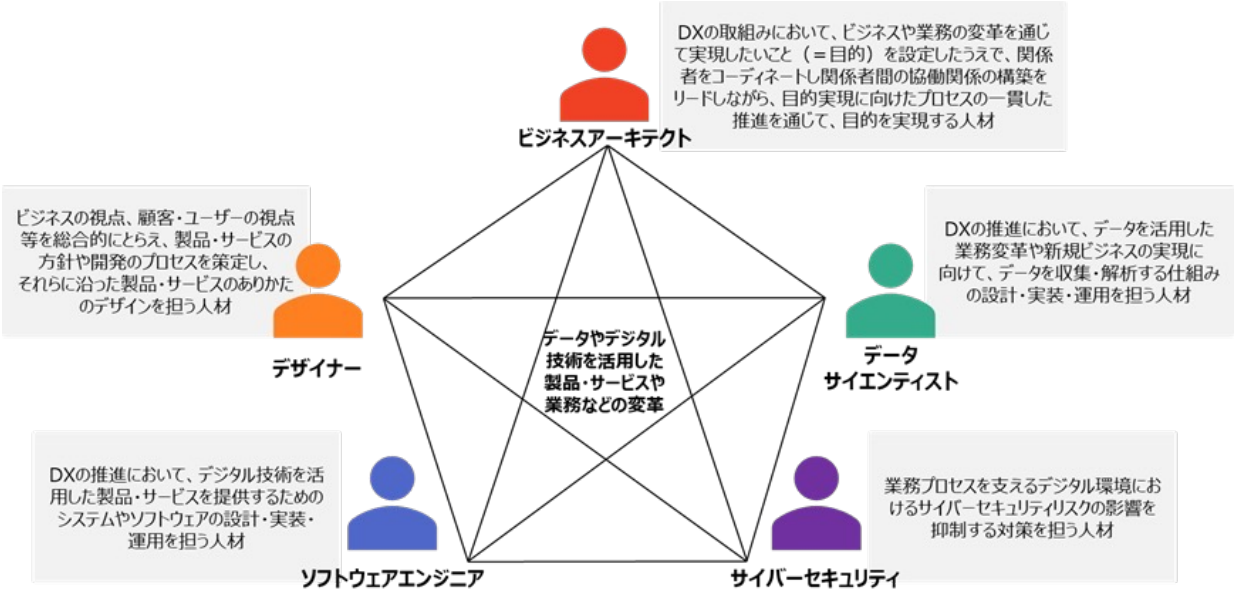
→DXリテラシーとして身に付けるべき知識の学習の指針とする

マインド・スタンス

✓ 社会変化の中で新たな価値を生み出すために必要な意識・姿勢・行動を定義

→個人が自身の行動を振り返るための指針かつ、組織・企業がDX推進や持続的成長を実現するために、構成員に求める意識・姿勢・行動を検討する指針とする

DX 推進スキル標準



経済産業省「「デジタルスキル標準」をとりまとめました！ 」より引用（https://www.meti.go.jp/press/2022/12/20221221002/20221221002.html）

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

DX 推進人材の役割と教育プラン

キカガク KIKAGAKU

期待する役割		教育プラン・主なコース	
ビジネスアーキテクト	• デジタルを活用したビジネスを設計し、一貫した取組みの推進を通じて、設計したビジネスの実現に責任を持つ • 関係者をコーディネートし、関係者間の協働関係の構築をリードする	5日～	• 高度ビジネス企画ワークショップ • クラウド活用による業務変革ワークショップ • DXプロジェクトマネジメント実践コース
デザイナー	• 顧客・ユーザー視点でのアプローチを、取組みの関係者が常に意識できるように導く • 倫理的観点を踏まえた顧客・ユーザーとの接点（製品・サービスと顧客・ユーザーとが関わるポイント）のデザインを行う	3日～	• デジタルマーケティング・ブランディング実践 • ユーザー調査実践
データサイエンティスト	• 自社や自組織の競争力向上につながるデータ活用を実現する • DXにおけるデータ活用領域を担い、必要に応じて、他の人材類型と柔軟に連携する	9日～	• 機械学習実践コース • ディープラーニングハンズオンコース • データサイエンス実践コース
ソフトウェアエンジニア	• 高い技術力を通じて自社や自組織の競争力向上に貢献する • 変化の激しい状況の中でも、他のステークホルダーと柔軟に連携し、価値を生み出す • 自らの手で競争力のあるソフトウェアを創り出せる水準の高い技術力を維持・獲得する	5日～	• SQL 入門コース • データベース設計コース • エンジニアのためのクラウド入門 • クラウド実践ハンズオン（クラウドネイティブ編）
サイバーセキュリティ	• DXによる価値提供とセキュリティ対策とのバランス確保を通じて自組織の戦略遂行に貢献する • 外部のサイバーセキュリティ専門事業者も活用しながら、兼務でも可能な範囲で担うべき業務を遂行 • 他の人材類型と連携して、DX推進に伴うデジタル環境のリスクによる被害を抑制	2日～	• 情報セキュリティコース • SaaS担当者のためのセキュリティ概要

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

人材育成ロードマップ：デジタルスキル標準対応

キカガク KIKAGAKU

：オンライン/オフライン研修　：eラーニング　★：オープンコース　●：資格系　▲：サイバージム社提供サービス

	ビジネスアーキテクト			デザイナー			データサイエンティスト			ソフトウェアエンジニア				サイバーセキュリティ	
	新規事業開発	既存事業の高度化	社内業務の効率化	サービスデザイナー	UX/UIデザイナー	グラフィックデザイナー	データビジネスストラテジスト	データサイエンスプロフェッショナル	データエンジニア	クラウドエンジニア	フィジカルコンピューティングエンジニア	フロントエンドエンジニア	バックエンドエンジニア	サイバーセキュリティマネージャー	サイバーセキュリティエンジニア
DX推進スキル標準															
応用	実データを使用した PBL 研修 3ヶ月														
	PoC 企画 1日 / PoV（価値検証） 1日														
	・新規事業企画立案コース 2日 ・要求定義実践 1日 ・システム RFP 作成 2日 ・AI システム開発 1日 ・Business Management Game（BMG）応用 2日			・DX 追体験ワークショップ 2日 ・自社分析ワークショップ 1日 ・DX 戦略立案 1日 ・評価指標・ビジネス効果試算 0.5日			【特化コース】 ・画像処理 15h 2日 ・自然言語処理 20h 3日 ・最適化 2日 ・異常検知 1日 ・時系列解析 0.6h 2日			クラウド企画ワークショップ 1日				・Advanced Forensics Training 3日 ▲ ・Advanced Penetration Tester Training 3日▲ ・Red Team 養成トレーニング 5日 ▲ ・SOC Training 8日 ▲ ・Forensics Training 2日 ●▲ ・SIEM Intrusion Detection Training 2日 ▲ ・Penetration Tester Training 3日 ▲ ・Secure Coding for Developers 2日 ▲	
							機械学習モデル自動運用（Azure編） 2日								
							・深層学習応用 2日 ・因果推論 1日 ・AI の説明可能性 1日 ・データサイエンス応用 2日								
実践	・BI データ分析ハンズオン 2日 ・RPA・業務自動化実践 1日 ・ノーコード AI モデル構築 1日 ・データサイエンス活用 1日 ★ ・データ分析課題設計ワークショップ 1日			・デジタルマーケティング実践 2日 ・ユーザー調査実践 1日 ・デザイン思考顧客体験（UI/UX)向上 2日			・データサイエンス実践 5h 3日 ★ ・ディープラーニングハンズオン（E資格対応） 8h 3日 ★● ・機械学習実践 5h 3日 ★ ・アルゴリズム実装 1日 ・Web データ取得加工 1日			・AWS インフラ構築実践 2日 ・SQL 発展 1日				・Cyber-Threads and Defense Essentials 2日●▲ ・Incident Response Training for LockBit 2日 ▲ ・ICS Defense Essentials 2日 ▲ ・オンサイト型 ICS Defense Essentials 2日 ▲	
							・データエンジニアリング実践 2日 ★ ・Dify 実践 1日 ・Azure OpenAI Service ハンズオン 2日 ・Amazon Bedrock ハンズオン（エンジニア層） 2日								
基礎	・Business Management Game（BMG）基礎 1日 ・DX プロジェクトマネジメント実践 2日 ・DX ビジネス企画立案 1.5h 1日 ★ ・業務変革ワークショップ 1日 ★ ・DX デザイン思考・課題抽出 1.2h 0.5日 ★			・プログラミング思考 1日 ・DX クリティカルシンキング 0.5日 ・データマネジメント基礎 0.5日			・Python3 エンジニア認定基礎試験対策講座 1日 ● ・データサイエンス理論コース（統計検定 3級） 2日 ● ・データサイエンティスト検定リテラシーレベル対策講座 1日 ● ・Excel & Python 演習 1日 ・Python 基礎 1日			・AI システム開発コース 1日 ・Python アプリ開発基礎 1日 ・AWS インフラ構築基礎 2日 ・Docker 基礎 1日 ・データベース設計 1.6h 1日				・Cyber Strategy For Executives 2日 ▲ ・Cyber Strategy For Managerial positions 2日 ▲	
							データエンジニアリング入門 1h 1日 ★							・インシデント対応トレーニング 1日 ▲ ・SaaS 担当者のための情報セキュリティ 0.6h 0.5日	
							Python & 機械学習入門 8h			SQL 入門 0.6h 1日 ★					
	・生成 AI 入門 4h 0.5日 ★ ・Copilot for MS 365 入門 1日 ・Dify 入門 0.5日 ・最新 Tech トレンド 0.5日 ・サイバーセキュリティ専門eラーニング 利用可能期間6か月:4h ▲ ・ 標的型攻撃メール訓練 1日 ▲ ・ アウェアネス講習 0.5日 ▲														
DX 推進スキルパッケージ	【DX 推進スキル基礎】 ・ビジネス変革編 2.2h ・データ活用編 1h ・テクノロジー編 1.7h ・セキュリティ編 1h														
	DX 推進スキルアセスメント（経済産業省 DX 推進スキル標準準拠）														
DXリテラシー標準															
入門	**対策テスト**	IT パスポート対策テスト ●			G検定対策講座・テスト ●										
	ツール	Excel ハンズオン 1日			Excel 初級~上級ハンズオン 9.5h			Power Automate Desktop ハンズオン 10h			体験型 DX リテラシー向上 1.5h				
	DX リテラシーパッケージ	問題演習型 DX リテラシー向上 2.5h			DX ファーストステップ 2.5h		データサイエンス入門 2h	身近な事例でわかる IT 入門 1.5h		IT・ソフトウェア基礎 3h		AI・クラウド・IoT 入門 4.5h		情報セキュリティ 0.6h 0.5日	
		DX リテラシーアセスメント（経済産業省 DX リテラシー標準準拠）													

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

キカガクの人材育成サービス全体像

キカガクはDX実現のためのすべてのフェーズをサポート

Phase1	Phase2	Phase3	Phase4	Phase5
人材育成 計画策定	リテラシー 教育・測定	実践スキル 習得	実務への 適用・活用	コンサル ティング
人材育成計画 策定支援	eラーニング DXアセスメント	カスタマイズ 研修	実データ PBL研修	開発支援 コンサルティング

DX 実現

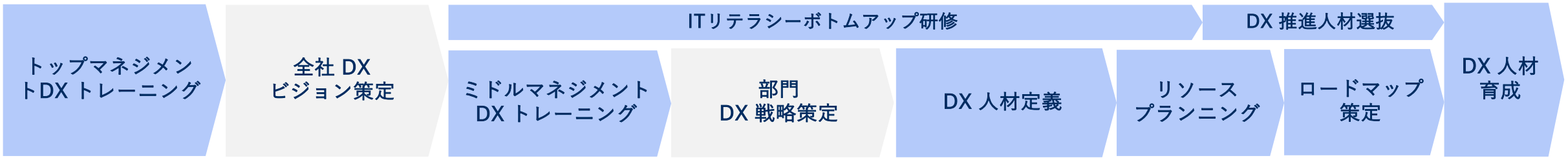
©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

0. DX 推進について

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

推進の全体像

効果的な DX 人材定義を策定するには、会社としてどのようにデジタルエクセレンスを達成していくのか（＝部門ごとの DX 戦略）明確化が必要



対象	目的	実施内容	ゴール（アウトカム）
トップマネジメント（CEO~執行役員）	全社 DX ビジョン策定のためのナレッジ会得	・全社DXビジョン策定 ・トップマネジメント DX トレーニング	・全社DXビジョン
ミドルマネジメント（部門長）	DX 戦略策定のためのナレッジ会得	・ミドルマネジメント DX トレーニング研修	・部門ごとのDX戦略 ・DX人材定義
DX 推進人材	各戦略を達成するために必要なスキルの会得	・スペシャリティ専門トレーニング	・スキルフルなDX人材
全社員	全社員のIT/AIに関するリテラシーの向上	・IT リテラシーボトムアップ研修 ・アセスメント	・アセスメント結果 ・DX 推進人材の選出

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

DX 推進成熟度

企業のデジタル変革の段階と各フェーズにおける課題

企業における DX 推進成熟度

Phase5
DX 変革期
新たなサイクルの始まり

Phase4
DX 結実期
DX による取り組み成果が出始めている

Phase3
DX 開花期
全社員がリテラシーレベル取得済み
一方でなかなか成果が出ない

Phase2
DX 育成期
人材定義、研修提供、アセスメントによる見える化など一部取り組み開始中

Phase1
DX 種まき期
DX 推進取り組み未着手状態（または開始してまもない）

各フェーズにおけるよくある課題

-

- 自発的・自律的な DXへの取り組みは開始されているものの、一部業務の変革レベルに留まる
- 継続的なイノベーションを推進することが難しい

- 全社員に対してデジタルリテラシーレベルは育成済みだが、なかなか成果につながらない
- ビジネスアーキテクト人材の育成に課題感を感じている

- DX 人材類型定義に着手したものの、自社に合うタイプがわからない
- 育成のためのロードマップやキャリアパス策定ができていない

- 経営層は無関心か、関心があっても具体的な取り組みに至っていない
- DX 推進のために何から取り組めばよいかわからない状態

※「DX推進指標」とそのガイダンスを参照のもとキカガクにて作成

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

1. 人材育成計画策定

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

デジタル人材育成コンサルティング　全体フロー

キカガク KIKAGAKU

1 現状把握 ヒアリング

- ✓ あるべき人材像を定義するのためにミッション・ビジョン・戦略のヒアリング
- ✓ ヒアリングを踏まえた PJT スコープの定義

2 全体設計

- ✓ PJT の目的・ゴール設計
- ✓ スコープを基にしたタスク・スケジューリング
- ✓ PJT キックオフ

3 人材定義

- ✓ 全社・各事業部の視点で求められる人材の要件定義
- ✓ 階層・職種・活躍イメージを踏まえ全社展開用の概念図を整理
- ✓ スキル項目の詳細定義

4 ロードマップ策定

- ✓ ③ で定義した人物像における育成ロードマップを策定
- ✓ 各フェーズにおけるマインド・知識・スキル・実践力等を定義

5 アセスメント設計

- ✓ ④ のロードマップにしたがって育成状況を定量評価
- ✓ 全社・部門ごとに人材のスキルを可視化

6 実行

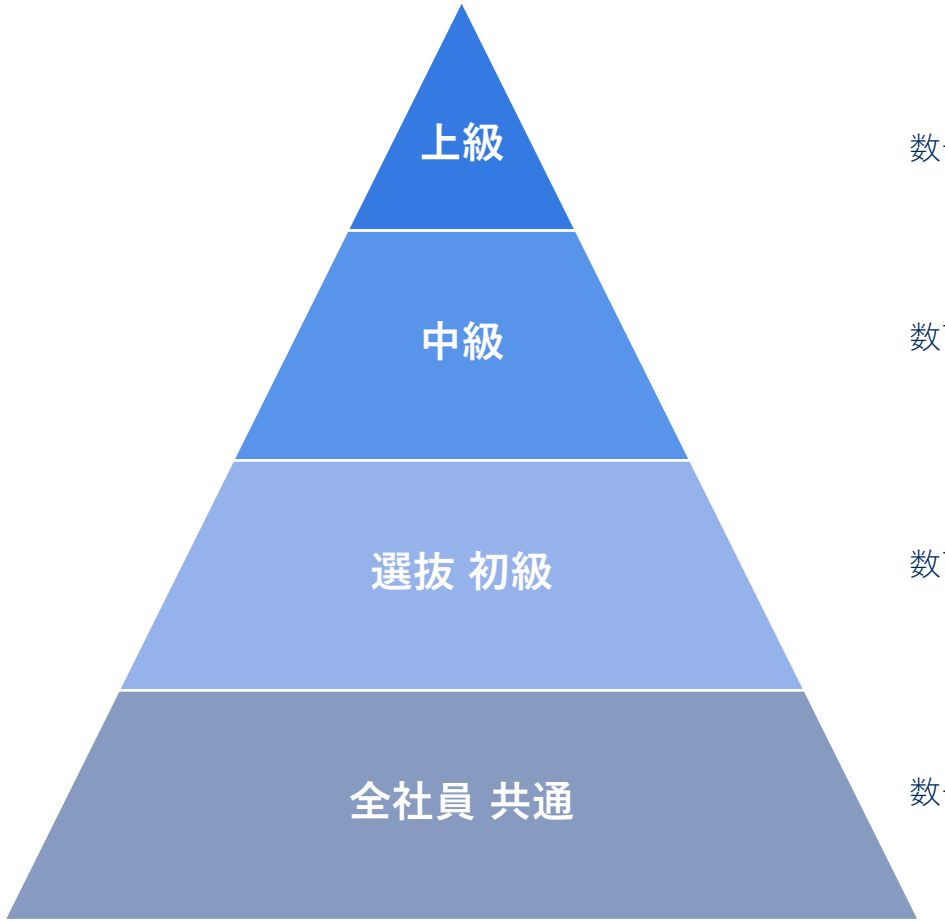
- ✓ 実行計画に従って KPI, スケジュール管理
- ✓ アセスメントを軸に人事制度への反映、育成計画へフィードバック

・・・

人材育成実現

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

成果物イメージ（概念図）



		ビジネス プランナー	データサイエン ティスト	データ エンジニア
上級	数十人	発展	・・・	・・・	・・・
中級	数百人	応用	DX の知識を有しデジタルツールを活用できる。 事業課題を整理し企画の立案からプロジェクト推進までリードできる人材	データ分析を行うための数学・統計の知識を有し、データサイエンスや機械学習などを用いてデータ活用を推進できる人材	データマネジメント・ガバナンスの考え方を理解している。社内外のデータを収集・蓄積・処理し、データの利活用を促進できる人材
選抜 初級	数百人	基礎	・・・	・・・	・・・
全社員 共通	数千人	リテラシー	IT・デジタルなど DX に欠かせない知識をインプットし、組織変革を図るための DX リテラシーを有している。 時代の潮流や業界事例を通じてDX の必要性や可能性を感じることができる。		

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

成果物イメージ（人材別詳細定義）

キカガク KIKAGAKU

期待行動	世の中にあるシステムを活用し、業務改善ができる
役割 主な業務	✓ 社内業務の課題と課題解決の目的を定義し、データやデジタル技術を活用した新たな業務プロセスの設計やプロセスを実行するための技術や手法・ツールの選定を行う ✓ 新たな業務プロセスの実現可能性、新たなプロセスによる課題解決の可否、ソリューションの有効性を検証し、計画の策定やソリューションの要件定義や実装を行う ✓ 顧客・ユーザーからのフィードバックやKPIのモニタリングを通じて、プロセスやソリューションの収益性を向上する施策（コストの削減等）を継続的に検討・実行する ✓ 構想から効果検証まで一貫して、関係者全体のコーディネート（必要なリソースの確保、チームの組成、適材適所を意識した偏りのないタスクの割り振り、関係者間の合意形成の促進等）を担う

必要なスキル

カテゴリー	サブカテゴリー	スキル項目	
ビジネス変革	戦略・マネジメント・システム	ビジネス戦略策定・実行	d
		プロダクトマネジメント	d
		変革マネジメント	d
		システムズエンジニア	c
		エンタープライズアーキテクチャ	c
		プロジェクトマネジメント	b
	ビジネスモデル・プロセス	ビジネス調査	c
		ビジネスモデル設計	d
		ビジネスアナリシス	c
		検証（ビジネス視点）	c
		マーケティング	d
		ブランディング	d
	デザイン	顧客・ユーザー理解	c
		価値発見・定義	c
		設計	d
		検証（顧客・ユーザー視点）	c
		その他デザイン技術	d
データ活用	データ・AIの戦略的活用	データ理解・活用	b
		データ・AI活用戦略	c
		データ・AI活用業務の設計・事業実装・評価	c
	AI・データサイエンス	数理統計・多変量解析・データ可視化	d
		機械学習・深層学習	d
	データエンジニアリング	データ活用基盤設計	d
		データ活用基盤実装・運用	d

カテゴリー	サブカテゴリー	スキル項目	
テクノロジー	ソフトウェア開発	コンピュータサイエンス	d
		チーム開発	d
		ソフトウェア設計手法	d
		ソフトウェア開発プロセス	c
		Webアプリケーション基本技術	d
		フロントエンドシステム開発	d
		バックエンドシステム開発	d
		クラウドインフラ活用	d
		SREプロセス	d
		サービス活用	c
	デジタルテクノロジー	フィジカルコンピューティング	c
		その他先端技術	d
		テクノロジートレンド	c
セキュリティ	セキュリティマネジメント	セキュリティ体制構築・運営	d
		セキュリティマネジメント	c
		インシデント対応と事業継続	c
		プライバシー保護	b
	セキュリティ技術	セキュア設計・開発・構築	d
		セキュリティ運用・保守・監視	d
パーソナルスキル	ヒューマンスキル	リーダーシップ	a
		コラボレーション	b
	コンセプチュアルスキル	ゴール設定	a
		創造的な問題解決	b
		批判的思考	a
		適応力	b

【凡例】a・・・高い実践力と専門性が必要　b・・・一定の実践力と専門性が必要　c・・・説明可能なレベルで理解が必要　d・・・位置づけや関連性の理解が必要

SAMPLE

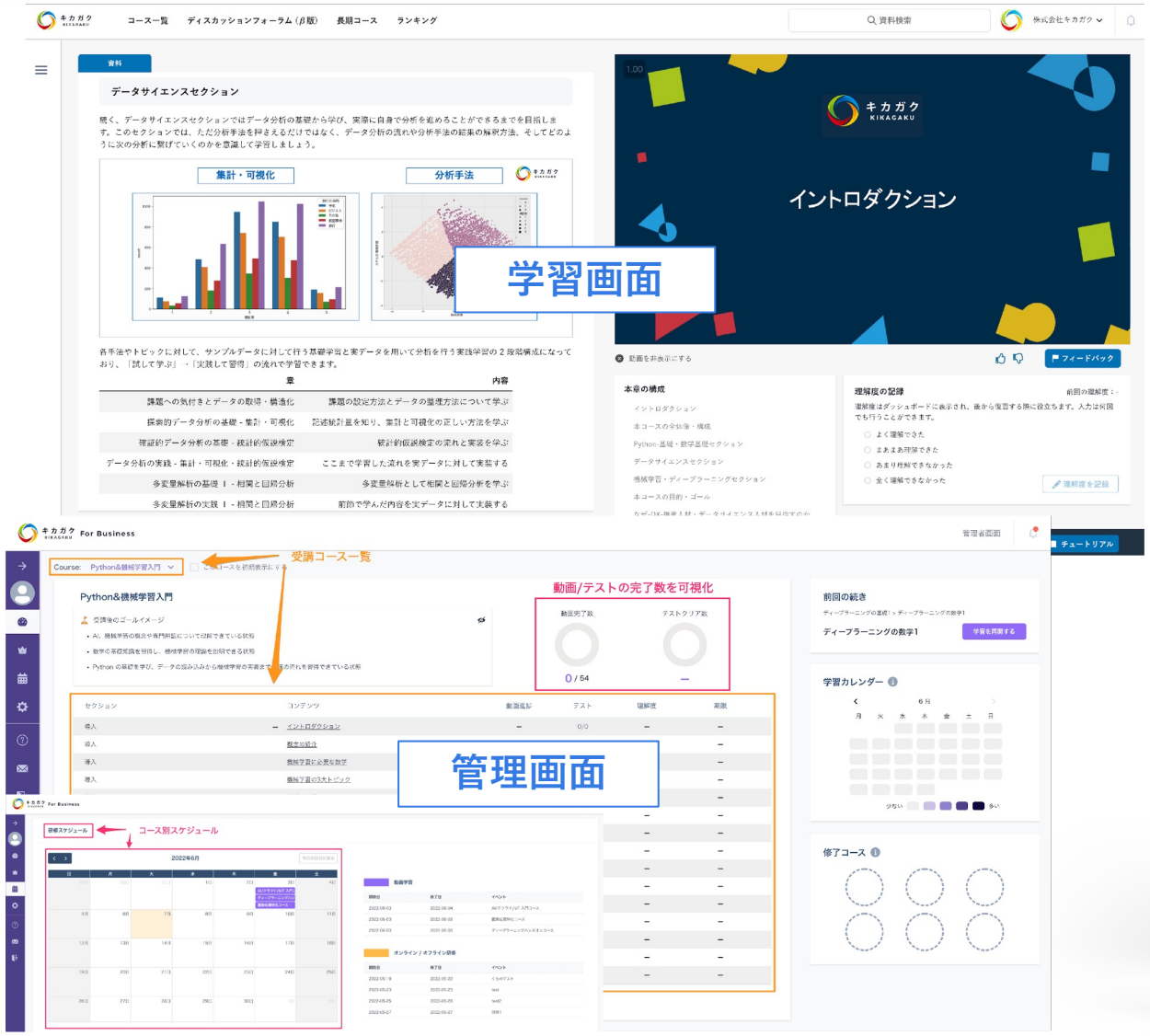
©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

2. e ラーニング・アセスメント

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

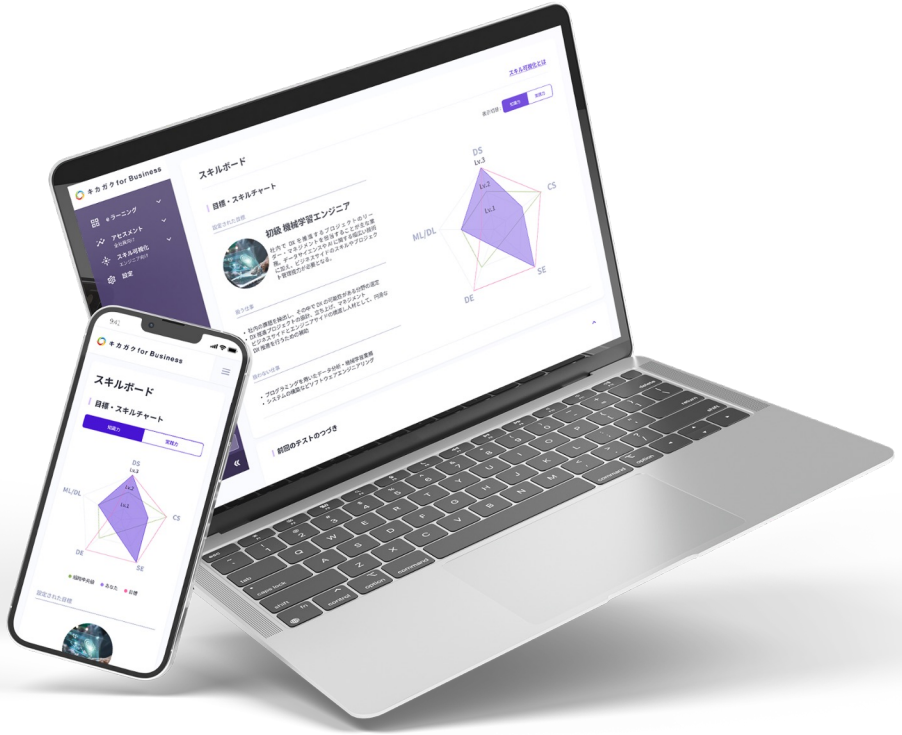
DX 人材ラーニング・アセスメントプラットフォーム

キカガク KIKAGAKU



AI人材育成
特別部門賞受賞

企業DX人材育成
特別部門賞受賞

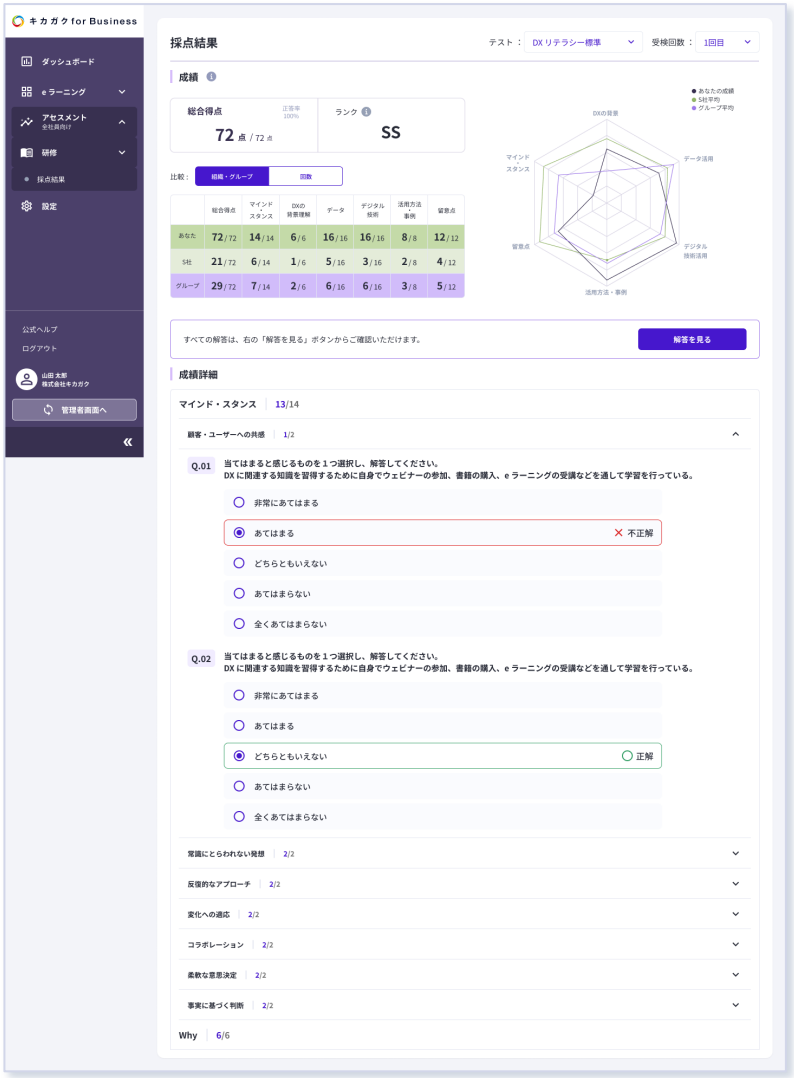


©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

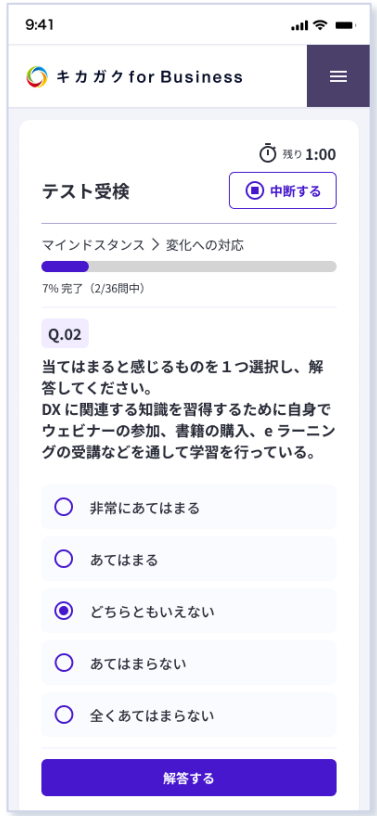
全社員向け DX リテラシーアセスメント

キカガク KIKAGAKU

アセスメント結果



テスト概要



経産省「DXリテラシー標準」準拠

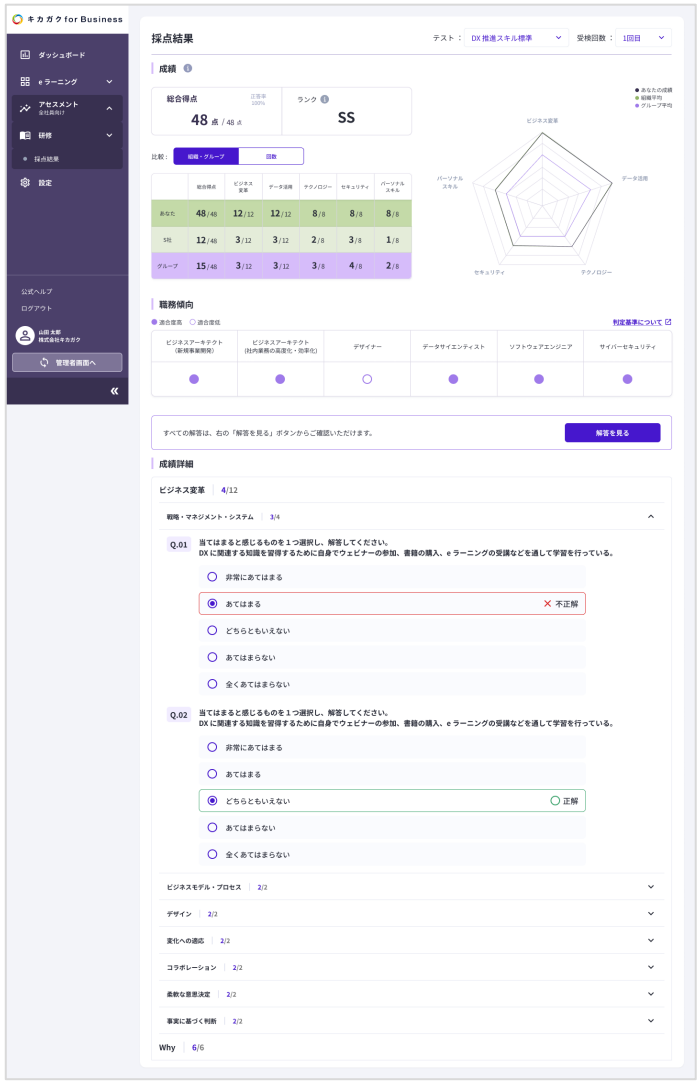
知識力・思考力・マインドセットを定量評価

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

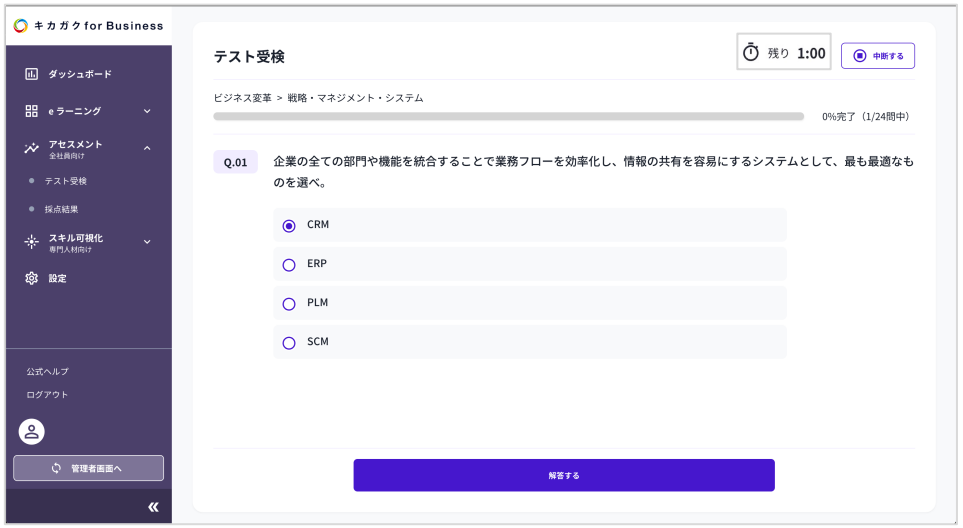
推進人材向け DX 推進スキルアセスメント

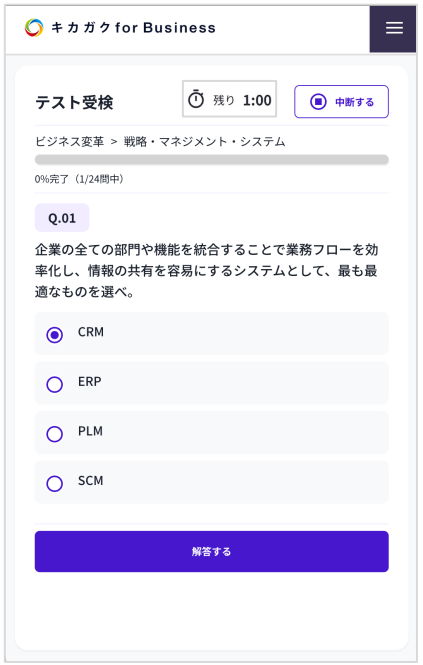
キカガク KIKAGAKU

ダッシュボード



テスト概要





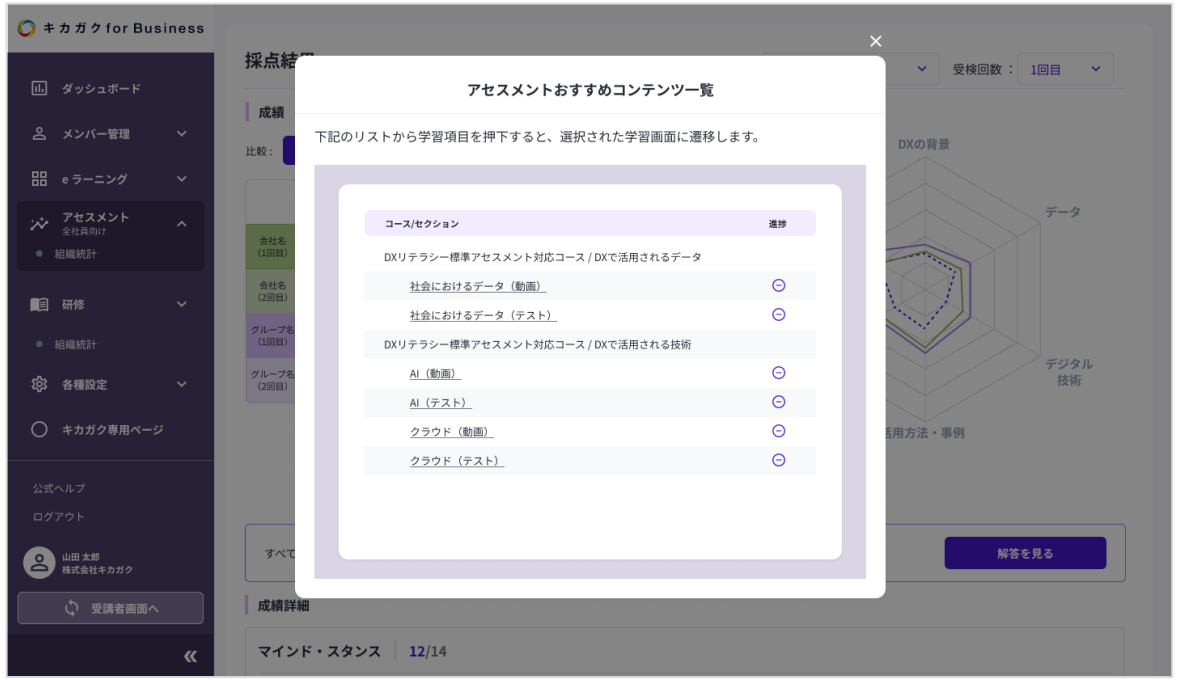
経産省「DX推進スキル標準」準拠

ビジネス変革・データ活用・テクノロジー・
セキュリティ・パーソナルスキルを定量評価

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

機能紹介 ① アセスメント後のレコメンド

- ✓ 個々人のアセスメント結果をもとに、おすすめの e ラーニングを提案
- ✓ ダッシュボード画面に進捗率を表示
- ✓ 一覧画面、リマインダー機能も用意

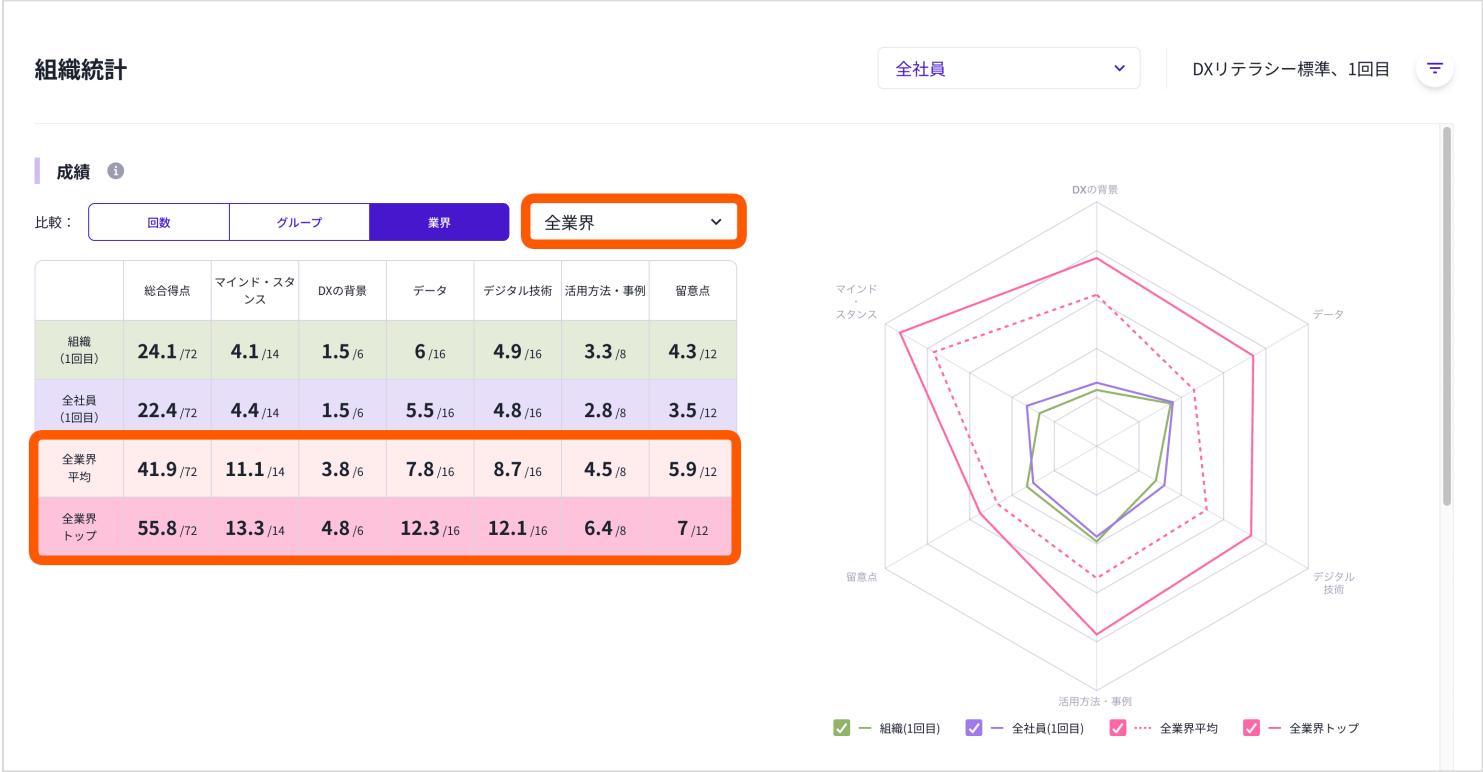


©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

機能紹介 ② 業界比較

✓ 自社内での比較だけでなく、業界比較による客観的に現在地の把握が可能

✓ 業界レベルを認識したうえで育成方針の策定



	総合得点	マインド・スタンス	DXの背景	データ	デジタル技術	活用方法・事例	留意点
組織（1回目）	24.1 /72	4.1 /14	1.5 /6	6 /16	4.9 /16	3.3 /8	4.3 /12
全社員（1回目）	22.4 /72	4.4 /14	1.5 /6	5.5 /16	4.8 /16	2.8 /8	3.5 /12
全業界平均	41.9 /72	11.1 /14	3.8 /6	7.8 /16	8.7 /16	4.5 /8	5.9 /12
全業界トップ	55.8 /72	13.3 /14	4.8 /6	12.3 /16	12.1 /16	6.4 /8	7 /12

閲覧可能な業界

閲覧可能な業界は会社が所属する業界と全業界

現在、管理画面上で平均点、トップ企業を確認できる業界は以下（※ 順次業界追加）

・サービス・インフラ
・製造業
・商社
・ソフトウェア・通信
・広告・マスコミ
・金融
・官公庁・公社・団体

※ 本機能により、アセスメントご利用の企業名が他社に伝わることはございません。

※ DX リテラシーアセスメントのみの機能となります。

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

DX リテラシーアセスメント 活用事例

経産省「DX リテラシー標準」に準拠し、知識力・思考力・マインドセットを定量評価するアセスメント

導入実績 約300社 （2025年1月時点）

活用事例パターン	企業事例
① 企業のDXリテラシー合格基準として活用 経産省の定めた日本企業に求められるDXリテラシーの基準に準拠していることから、各企業のリテラシー合格ラインの基準としてご活用いただく事例	✓ 自動車部品製造メーカー（社員規模15,000名） ✓ 大手印刷メーカー（社員規模40,000名） ✓ 大手食品サービス企業（社員規模7,000名）
② DX 研修の効果測定として活用 全社DX / デジタル研修から階層別研修や部署別研修等、DX人材育成研修の効果測定として実施前、実施後の成長率を可視化する目的でのご活用事例	✓ 建設機械メーカー（社員規模60,000名） ✓ 大手素材メーカー（社員規模30,000名） ✓ オフィス機器メーカー（社員規模2,000名）
③ メンバー選抜の基準として活用 選抜DX / デジタル研修の受講生選抜・社内DXプロジェクト配属メンバー選抜・未経験エンジニア育成メンバーの選抜基準としてご活用いただく事例	✓ デジタルマーケティング企業（社員規模50,000名） ✓ バッテリー製造メーカー（社員規模20,000名） ✓ SIer 企業（社員規模200名）

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

3. カスタマイズ研修

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

カスタマイズ研修

ポイント１

講義力・講師力に長けた
教えるプロ人材を登用

ポイント２

講座制作の全工程を内製化
企業に合わせてカスタマイズ

業界認定講座多数

経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry
Reスキル
JDLA 認定プログラム
THE JAPAN DATASCIENTIST SOCIETY MEMBER
東京大学 THE UNIVERSITY OF TOKYO
厚生労働省 Ministry of Health Labour and Welfare
一般社団法人 日本メディカルAI学会 Japanese Association for Medical Artificial Intelligence
Retail AI Institute
Benesse
未来型医療創造卓越大学院プログラム Advanced Graduate Program for Future Medicine and Health Care
長岡工業高等専門学校

自動車・製造業・メーカー
TOYOTA FUJIFILM 住友重機械 DNP 大日本印刷 KONICA MINOLTA Canon 住友ゴム OKI SEGASammy IHI RICOH ITOKI YANMAR 富士電機 Panasonic YASKAWA

小売・食品
SAPPORO daiei セブン-イレブン Retail AI Institute House TRIAL

運輸・建設・電力ガス
Seibu Holdings ヤマトグループ 清水建設 at home SHIZGAS TOKYO GAS 四国電力

金融・保険
MIZUHO Quick 百十四銀行 アコム Prudential 山梨中央銀行

公共・大学
経済産業省 Ministry of Economy, Trade and Industry Reスキル 長岡工業高等専門学校 一般社団法人 日本メディカルAI学会 Japanese Association for Medical Artificial Intelligence

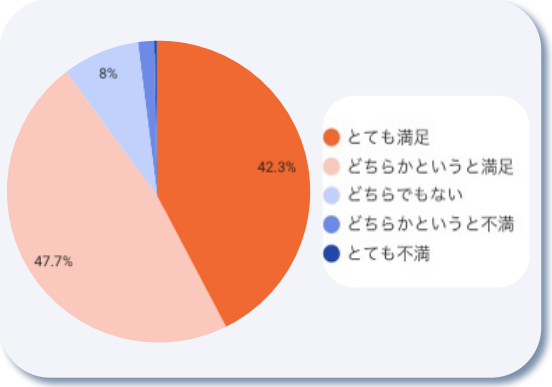
IT・情報通信・SIer
モリサワ FUJITSU 株式会社富士通ゼネラルOSテクノロジー Pioneer Microsoft NTT DATA NTTテクノクロス OPTAGE SCSK 電通総研 TBTECH テービーテック株式会社 TPEC SOMPOシステムズ 東芝デジタルエンジニアリング株式会社 株式会社 日立ソリューションズ・クリエイト

その他
mercari ATEAM ABEJA DMM.com OLBA HEALTHCARE

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

講師について

教育のプロフェッショナルである内製講師と実践経験豊富な認定パートナー講師が
それぞれの強みを融合し、ご受講生の成長と実践力向上を実現



豊富な講師数

100人以上

受講生満足度

90%

※ 人数：キカガクの講師育成プログラムを受けた認定パートナー講師を含む
※ 満足度：パートナー講師と内製講師を含むアンケート評価の肯定回答数割合（5段階）

講師・コンサルタント紹介

研修事業部技術統括マネージャー / DX コンサルタント

大手自動車メーカー様、人材育成プロジェクトのマネージャーや大手通信事業会社様のDX人材認定制度コンサルタントなどを担当。
経営層、部長職セミナー等、登壇実績多数。

教育コンサルティング部門リーダー / DX コンサルタント

講師チームリーダー及び講師として登壇、教材開発等に従事。
製造業を中心に複数業界の大手企業様へ深層学習・データサイエンス領域 / DXの企画立案や等ビジネス人材向け研修の登壇実績多数。

キカガク認定パートナー講師

大手通信会社にて新規事業開発に従事し、その後 AI コンサルを経験。
キカガクにて生成 AI や新規事業企画立案など、ビジネスアーキテクト領域の研修に登壇。CompTIA A＋や技術系資格を複数保持。

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

研修を研修で終わらせない「カスタマイズ研修」

キカガク KIKAGAKU

株式会社西武ホールディングス様

目的
- 主要なグループ会社におけるDXリテラシーの現状把握から底上げ、さらに社内データの利活用を進めるための人財育成

課題
- DX人財を育成する上で、DXリテラシーの現状把握をしたい
- 自分ごと化に繋がるeラーニングを導入したい
- データ起点で考え、実務に繋がる研修を実施したい

効果
- アセスメントで、DXリテラシーの現状の明確化
- 自社事例を入れたカスタマイズeラーニングが社内一の再生数に
- 実課題×実データワークショップで、実際に取り組む施策立案

実課題×実データで、実際に取り組む施策を立案

ワークショップで実データを使用した背景はありますか？

渡邉様：
一般的な研修の課題として、サンプルデータでは疑似体験はできても、実際のデータを使わないと実務での活用に繋がらないことがあると思います。

つまり、**自身の業務に使えるかもしれないデータの存在と価値を知り、実際にそれを活用して具体的な施策まで立案することで、すぐに実務でも使えるイメージを持ってもらいたいという背景**でした。

まず私達から、どんなテーマで、どんな内容にすればよいかのイメージを共有させて頂きました。

そこから、活用できるデータ、追加で必要なデータ、具体的なデータ分析やその解釈、適切な研修時間の設計や解説する項目の意味付け、そして最終的なアウトプットの形など、**研修設計の視点や受講生の視点も踏まえ、具体的な研修に落とし込んで下さいました。**

数値化やビジュアル化で現状を正しく把握できるアセスメント

アセスメントをキカガクに決めた背景等を教えてください。

田口様：
まず大前提として、**DX リテラシー標準に準拠したアセスメント**を探していました。
その中で、知識だけでなくマインド面も測定できたり、カテゴリーごとに問題が設定されていたり、ランダムに問題が出るところも他社と比較し高評価でした。

館岡様：
本アセスメントでは、**自社の結果が定量値やビジュアルでわかるだけでなく、全受験企業の平均との比較や同業界での比較などから自社のリアルな現状がわかるので、注力しないといけないという危機感や、どこに注力すればよいのかが明確になる**ことに感銘を受けました。

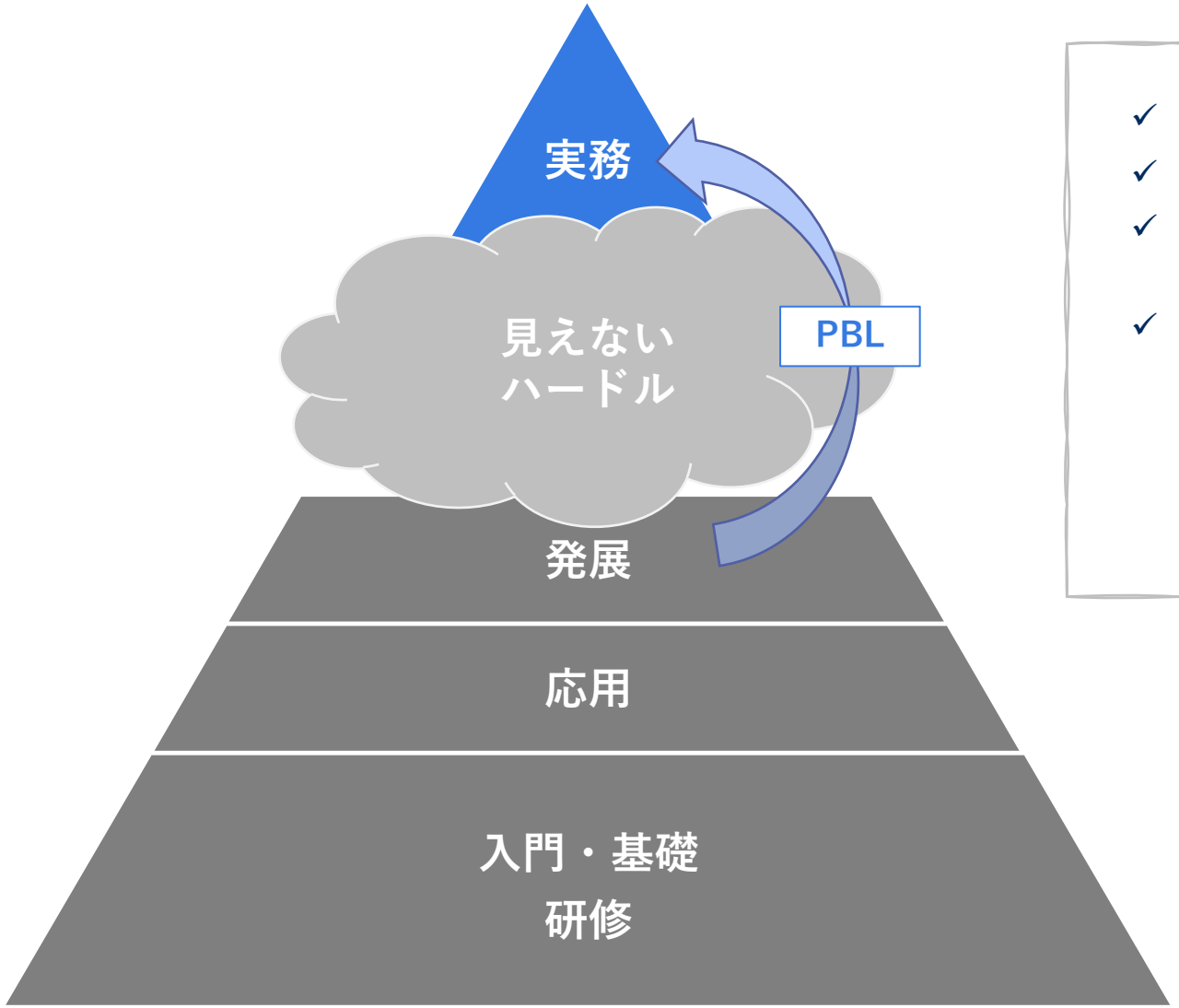
ご参考：研修を研修で終わらせないための「アセスメント＆カスタマイズ研修」

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

4. 課題解決型 PBL 研修

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

課題解決型 PBL 研修



- ✓ どんな課題に取り組めばいいかわからない
- ✓ 一人での実施が不安、サポートがほしい
- ✓ プロジェクト推進に他部署や上長の承認が必要
  時間と心理的コストがかかる
- ✓ データの取得や環境構築がうまく行かず、最初の
  一歩目が踏み出せない

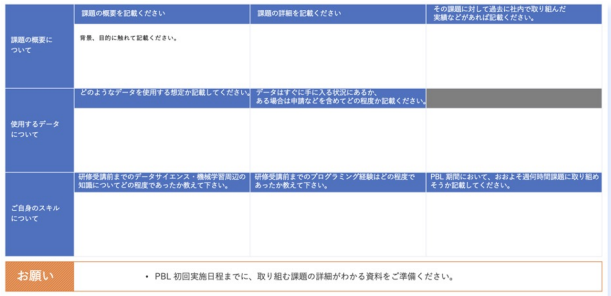
学んだ内容も忘れ、モチベーションが低下
研修を受けただけで終わってしまう

受講生

課題解決型研修（PBL）を実施
育成プログラム内で実務に適用

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

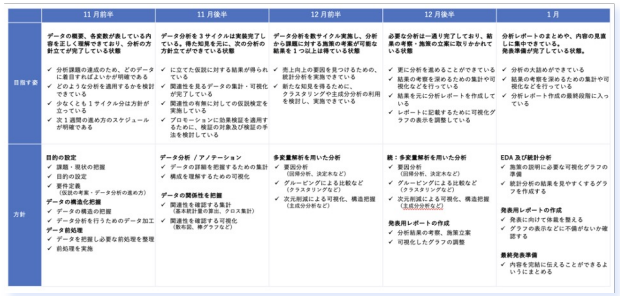
PBL 実施ステップ



	課題の概要を記載ください	課題の詳細を記載ください	その課題に対して過去に社内で取り組んだ実績などがあれば記載ください。
課題の概要について	背景、目的に触れて記載ください。		
使用するデータについて	どのようなデータを使用する想定か記載してください。	データはすでに手に入る状況にあるか。ある場合は申請などを含めてどの程度か記載ください。	
ご自身のスキルについて	研修受講前までのデータサイエンス・機械学習周辺の知識についてどの程度であったか教えて下さい。	研修受講前までのプログラミング経験はどの程度であったか教えて下さい。	PBL 期間において、おおよそ週何時間課題に取り組めそうか記載してください。
お願い	・PBL 初回実施日程までに、取り組む課題の詳細がわかる資料をご準備ください。		

Step.1 課題ヒアリング・テーマ選定

- 受講生が現場の課題を持ち寄り、それに対し弊社コンサルタントがフィードバック
- 実現可能性、有用性、経済性等の観点から課題に優先度をつける
- 取り組むテーマや受講生の知識・技術レベルに応じて、必要であれば追加のインプットを提案



	11 月前半	11 月後半	12 月前半	12 月後半	1 月
目指す姿	**データの概要、各変数が表している内容を正しく理解できており、分析の方針立てが完了している状態** ✓ 分析課題の達成のため、どのデータに着目すればよいかが明確である ✓ どのような分析を適用するかを検討できている ✓ 少なくとも 1 サイクル分は方針が立っている ✓ 次 1 週間の進め方のスケジュールが明確である	**データ分析を 3 サイクルは実施完了している。得た知見を元に、次の分析の方針立てができている状態** ✓ に立てた仮説に対する結果が得られている ✓ 関連性を見るデータの集計・可視化が完了している ✓ 関連性の有無に対しての仮説検定を実施している ✓ プロモーションに効果検証を適用するために、検証の対象及び検証の手法を検討している	**データ分析を数サイクル実施し、分析から課題に対する施策の考案が可能な結果を 1 つ以上は得ている状態** ✓ 売上向上の要因を見つけるために、統計分析を実施できている ✓ 新たな知見を得るために、クラスタリングや主成分分析の利用を検討し、実施できている	**必要な分析は一通り完了しており、結果の考察・施策の立案に取りかかれている状態** ✓ 更に分析を進めることができている ✓ 結果の考察を深めるための集計や可視化などを行っている ✓ 結果を元に分析レポートを作成している ✓ レポートに記載するために可視化グラフの表示を調整している	**分析レポートのまとめ、内容の見直しに集中できている。発表準備が完了している状態。** ✓ 分析の大詰めができている ✓ 結果の考察を深めるための集計や可視化などを行っている ✓ 分析レポート作成の最終段階に入っている
方針	**目的の設定** ✓ 課題・現状の把握 ✓ 目的の設定 ✓ 要件定義（仮説の考案・データ分析の進め方） **データの構造化把握** ✓ データの構造の把握 ✓ データ分析を行うためのデータ加工 **データ前処理** ✓ データを把握し必要な前処理を整理 ✓ 前処理を実施	**データ分析 / アノテーション** ✓ データの詳細を把握するための集計 ✓ 構成を理解するための可視化 **データの関係性を把握** ✓ 関連性を確認する集計（基本統計量の算出、クロス集計） ✓ 関連性を確認する可視化（散布図、棒グラフなど）	**多変量解析を用いた分析** ✓ 要因分析（回帰分析、決定木など） ✓ グルーピングによる比較など（クラスタリングなど） ✓ 次元削減による可視化、構造把握（主成分分析など）	**続：多変量解析を用いた分析** ✓ 要因分析（回帰分析、決定木など） ✓ グルーピングによる比較など（クラスタリングなど） ✓ 次元削減による可視化、構造把握（主成分分析など） **発表用レポートの作成** ✓ 分析結果の考察、施策立案 ✓ 可視化したグラフの調整	**EDA 及び統計分析** ✓ 施策の説明に必要な可視化グラフの準備 ✓ 統計分析の結果を見やすくするグラフを作成する **発表用レポートの作成** ✓ 発表に向けて体裁を整える ✓ グラフの表示などに不備がないか確認する **最終発表準備** ✓ 内容を受講に伝えることができるようにまとめる

Step.2 実行計画書の策定

- テーマが決まり次第、実行計画書の策定を行う
- 全体スケジュールに対し、いつまでに何を行うかどんな状態が望ましいのかを定義
- PoC 設計に関しては弊社コンサルタントのフィードバックを得ながら進め方や技術的な方針を決定

結論	試した施策や取り組みから最終的な得られた結論を記載		
分析の枠組み	分析の軸を記載 分析の大枠の流れや、どのような目的を持って分析を進めたか記載 行った分析全体の前提条件や大枠の仮説などがあればそちらも記載		
分析詳細	原因・仮説 データ・分析手法・分析結果を 1 セットとして記載してください。 分析結果に関して、優先順位の高いものから順番に記載しましょう。 こちらにはまずこの分析においての原因・仮説を記載します　Ex）ホテルの満足度に影響する要因を調べるために可視化を行った		
	データ 用いたデータに関して記載する。結論につながる最も重要なものに絞って記載する。 Ex）ホテルに宿泊した顧客からのアンケート結果	手法 分析に用いた手法について記載する。誰に向けたものかを意識し、相手に事前知識がない場合は、簡潔に何かが分かる説明で記載する。 Ex）円グラフ、クロス集計表	分析結果 この分析における結果を記載します。図や数値とともに、重要な部分のみを完結に記載する。追加でどのようなデータがあれば何ができそうかなどを記載しても構いません。 ・結論（次の分析につながった結果や得られた示唆など含む） ・根拠となる数値や図 ・図や数値の説明

Step.3 実施・成果報告

- 実行計画に沿って、環境構築・データ取得・加工・前処理・分析・モデル構築・検証等を行う
- 疑問・質問はチャットサポートやメンタリング時間を利用して解決（QA は取りまとめて全体へ共有）
- 弊社コンサルタントはあくまでサポートに徹するため、受講生の問題解決力・自走力が求められる
- 試行錯誤した結果はレポートにまとめ最終的な成果物として発表

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

PBL 運営フロー・スケジュール

：成果物　メンタリング　中間報告　最終報告

		PBL 1ヶ月目				PBL 2ヶ月目				PBL 3ヶ月目			
		1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w	1w	2w	3w	4w
① 企画・構想	▪ テーマアップ ▪ PoC設計 ▪ スケジューリング												
② 環境構築	▪ 仕様ツール選定 ▪ 仮想マシン立ち上げ等												
③ データ収集	▪ データ量・質の確保												
④ データ前処理	▪ データ加工 ▪ 特徴量抽出												
⑤ 分析・モデル構築	▪ 分析・調査 ▪ アルゴリズム検討												
⑥ 検証	▪ モデル精度改善 ▪ プロトタイプ構築												
⑦ 成果報告	▪ レポート作成 ▪ 発表												

- 学習データ
- モデルの評価結果
- 学習済みモデル
- ソーススクリプト
- テスト結果

- 成果報告レポート

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

5. 受託開発・コンサルティング

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

開発支援・コンサルティング サービス一覧

キカガク KIKAGAKU

DX・AI の力でビジネス成果の創出を支援

AI システム開発

課題整理のコンサルティングから、PoC、本番モデル開発、システム実装までを一気通貫してサポートします。

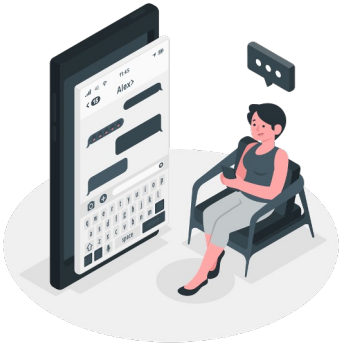
データ分析・活用

データ分析から課題発見・施策提案を行います。
統計、数理最適化、効果検証など幅広い分野に対応可能です。

データ分析基盤構築

データの収集、蓄積、分析までのデータ基盤の構築を行います。
Azure, AWS, GCP のどのクラウドサービスにも対応可能です。

ChatGPT/AOAI 導入支援



ChatGPT/Azure OpenAI Service の導入からシステムの実装、導入後のコンサルティングまで一気通貫でサポートします。

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例紹介：AI システム開発、データ分析・活用

キカガク KIKAGAKU

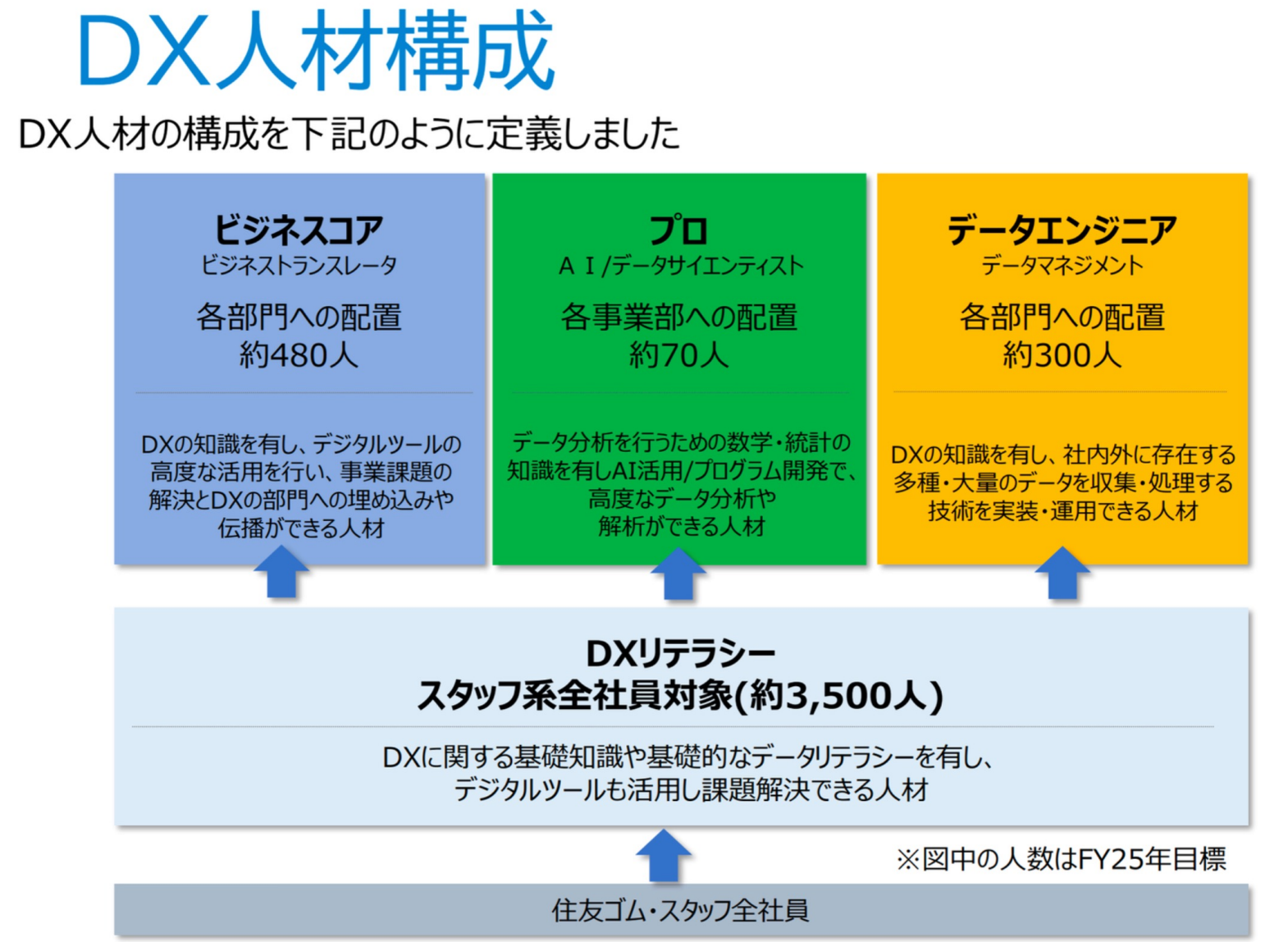
	予測 / 分析	画像解析	言語解析	最適化	その他
運輸 / 物流 / 運送 / 資源 /エネルギー	• 需要予測	• 運転手眠気推定		• 配送ルート • 電力供給	
製造 / 自動車 / 精密機器 / 重工機械 / 造船 / 素材	• 需要 / 流入量予測 • 異常検知 • コスト予測	• 異常検知 • 作業動画解析 • 対象物トラッキング • OCR ネイティブアプリ	• 社内文書仕分け • 類似文書検索 • チャットボット	• 生産計画 • 在庫管理 • 人員配置 • 機器パラメータ	
金融 / 保険 / 証券	• 与信審査				
医療 / 医薬品 / 医療機器	• 病状診断 • HD 治療血圧低下予測 • 遺伝子情報配列解析 • 心電図不整脈診断	• MRI 画像 セグメンテーション • 細胞検出			
小売 / 食品	• 需要 / 流入量 / 来客予測 • 市場価格予測 • ライフスタイル分析 • レコメンド • 来客予測	• レシート OCR	• 文字列マッチング （類似文検索） • レビュー分析	• 在庫管理	
情報通信 / SIer / インターネット	• チャットログ分析 • ワークエンゲージメント予測 • 人流データ解析		• チャットボット		
その他	• 離職予測 • センサス分析 • 要因・関連分析	• エッジカメラ • 衛生画像処理 • 顔 / 物体検知 • 姿勢推定	• LLM 連携 • 機械翻訳サービス • 文章クラスタリング • テキスト要約 • ネガポジ解析	• HR データ解析 • 広告、プロモーション	• LMS 開発 • Webアンケートシステム構築

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例紹介

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例：住友ゴム工業株式会社



全社教育でのポイント

1. トップダウンで間接部門3,500名にリテラシースキルを定着させる取り組みをスタート

2. eラーニングだけではなく、全員がリアルタイム研修のアウトプットを卒業要件として実施

3. 全社でDX事例、PBLやコンテンツ記事を定期的に発信するTeamsコミュニティを立ち上げ、その中で受講生の公募を実施

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例：住友重機械工業株式会社

技術本部に向けた専門人材向け PBL 研修から 3 年間で全社 DX 人材研修へ

課題・背景

- 技術本部から、先端技術研修の導入はしているが、現場での応用や活用に繋がっていない。
- 実課題から逆算した、PoC 企画の立案や AI モデル開発を一連の流れで学び、自社の課題を題材にしたカスタマイズ研修を実施
- 成功事例の共有会から、教育→活用を見据えた研修の部署展開につながる
- 組織全体への拡大のため DX レベル底上げ、全社員を対象にした e ラーニングシステムの導入へ踏み出し、全社横断型の DX 育成体型へと繋がった

全社共通 DX リテラシー教育（3 ヶ月）

DX ビジネス研修（1ヶ月）	データサイエンティスト（6ヶ月）	データエンジニア（3ヶ月）
課題抽出・ビジネス企画	データサイエンス Python入門	データ取得・加工
デジタルツール活用	ML・DL 実践	SQL 研修
プロジェクトマネジメント	特化型技術研修	データエンジニアリング
業務変革ワークショップ	課題解決型 PBL 研修	データベース設計・運用

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例：住友重機械工業（全社 DX 人材育成の拡大）

キカガク KIKAGAKU

2019 ① ② 2020 ③ ④ ⑤ 2021 ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ 2022 ⑩ ⑪ ⑫

発展・PBL
データサイエンティスト協会
独り立ちレベル

④【PBL】
対象者：技術本部
人数：５名
決済者：技術本部
提供方法：ライブオン
期間：6ヶ月間
背景：③受講者から選抜
選出をしPBL研修へ

⑦【PBL】
対象者：技術部
人数：７名
決済者：技術部
提供方法：ライブオン
期間：６ヶ月間
背景：⑥受講者から選抜
選出をしPBL研修へ

⑪【PBL】
対象者：技術部
人数：５名
決済者：技術部
提供方法：ライブオン
期間：６ヶ月間
背景：⑩受講者から選抜
選出をしPBL研修へ

応用
データサイエンティスト協会
見習い～独り立ちレベル

①【DL 実践】
対象者：技術本部
人数：２０名
決済者：技術本部
提供方法：ライブオン
期間：3日間
背景：問い合わせから AI
研修の受講希望

②【ML 実践】
対象者：技術本部
人数：２０名
決済者：技術本部
提供方法：ライブオン
期間：3日間
背景：①の習熟度がよく
同メンバーへ別講座

③【DL・ML 実践】
対象者：技術本部
人数：２０名
決済者：技術本部
提供方法：ライブオン
期間：3日間×２
背景：①②の研修を継続

⑤【DL・ML 基礎実践】
対象者：全部署
人数：１００名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：１ヶ月間
背景：技術本部から人事部
へ横展開に成功

⑥【DL・ML 実践】
対象者：技術本部
人数：２０名
決済者：技術本部
提供方法：ライブオン
期間：３日間×2
背景：①②の研修を
２年間継続

⑧【 DL・ML 基礎実践】
対象者：全部署
人数：１００名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：１ヶ月間
背景：全社手挙げ研修
⑤を継続実施

⑩【 DL・ML 基礎実践】
対象者：全部署
人数：１５０名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：１ヶ月間
背景：全社手挙げ研修⑧
を拡大し継続実施

基礎
データサイエンティスト協会
見習い

⑨【AI ビジネス企画】
対象者：全部署
人数：60名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：1日×３開催
背景：データ分析⑧から
ビジネス研修へ拡大

⑩【AI ビジネス企画】
対象者：全部署
人数：１００名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：１日×５開催
背景：ビジネス研修⑨の
受講者拡大

リテラシー
全社向け DX 教育

⑪【新人基礎研修】
対象者：新入社員
人数：１６０名
決済者：人事部
提供方法：ライブオン
期間：１ヶ月間
背景：全部署研修⑧から
新入社員研修へ拡大

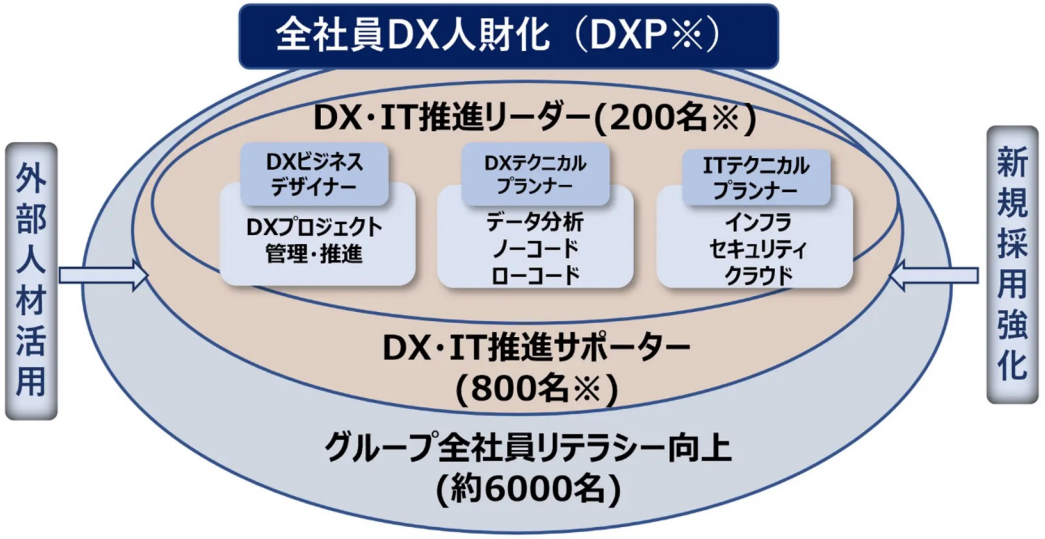
©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

事例：サッポロホールディングス株式会社

サッポロホールディングスの全ての関連会社
外食事業の店舗スタッフまで拡大し 6,000人の DX・IT リテラシー向上をサポート

課題・背景

- 「中期経営計画（2023～26）」をスタートさせ、事業戦略・財務戦略・サステナビリティを支える経営基盤として「DX」を重点活動の1つに位置付け社内でスキルレベル毎に DX・IT 人財を育成を進めていた。
- ビジネスモデルの変革に繋げるため、組織の一部ではなく全社的にDX を推進する組織のあり方や DX の全体像など、全社的に必要な DX 推進の基礎知識やマインドを習得させ DX リテラシーの向上をはかりたい。
- 組織全体のリテラシーレベル底上げが必要となるため、全社員を対象に e ラーニングシステムの導入を検討していたが、運用面やマネジメントも含めたシステムが見つからなかった。



※サポーター、リーダーは2022年･2023年に育成する人財の合計数

引用：サッポロホールディングス株式会社 プレスリリース
https://www.sapporoholdings.jp/news/dit/?id=9047

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.

あるべき教育で人の力を解放する

キカガク
KIKAGAKU

©2017-2025 kikagaku, Inc. All Rights Reserved.